

佐々木トキさんの100歳を祝う会が自宅で行われました。 家族や親戚ら約40人が祝福すると、トキさんはにっこりと 笑顔を見せました。トキさんは大正5年に附馬牛町で生ま



れ、17歳で八童 二郎さん(故人) と結婚。農業に 励みながら子ど も5人を育て、 現在は孫やひ孫 計27人に恵まれ、 穏やかに過ごし ています。

4月27日 木工団地に木質バイオマスボイラーを導入

森林エネルギーを活用しよう

林野庁から委託を受けている実証事業の一環で、青笹町 の木工団地内に木質バイオマスボイラーなどが整備されま した。完成披露会は同所で開かれ、関係者は森林エネルギー



を活用した産業 振興に期待を寄 せました。未利 用材を燃料とし て利用し、環境 負荷の低減と、 燃料費の削減に ついて実証を行

まちの

点火の合図でボイラー稼働!

います。

## 5月3日 遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」 華やかな時代絵巻を再現

春の風物詩である「南部氏遠 野入部行列」(遠野町地域づくり 連絡協議会主催)が蔵の道ひろ ば周辺で開催されました。行列 は約400年ほど前に八戸南部氏 が遠野に入部した様子を再現し たもので、今年で16回目。本市 と交流のある八戸市新田城まつ り運営委員会の26名も参加し、 総勢200人が当時の衣装を身に まとい、お国入りを再現しまし

た。入部行列の後は郷土芸能競

演会が開催され、訪れた市民や 観光客の目を楽しませました。 また同日は、市と(一社)日本 自動車連盟(JAF)の「観光振 興に係る連携協定書」の調印式 も実施。この協定は、相互の連 携により観光振興に向けた観光 客誘致を目的としています。今 後はJAFのホームページや会 報誌で、全国に遠野のイベント や観光スポットが紹介される予





5月20日 熊本県菊池市支援金伝達式 菊池市へ届け! 遠野の思い

平成28年熊本地震で被災した友好都市の菊池市のために 市民が集めた支援金の伝達式が、とぴあ庁舎で行われまし た。支援金は23の個人・団体から寄せられ、総額は315万円。

定です。



支援金を手渡す市民団体の代表者ら

同日は、被災地 を視察した市職 員の報告会も開 かれました。 支援金は、6 月上旬に本田市 長が菊池市を訪 問し、手渡す予 定です。





## 5月5日 「遠野郷八幡宮子供やぶさめ」開催 子どもの健やかな成長を願う

遠野郷八幡宮の「子どもやぶさめ」が同所で開かれ、10人 の児童が参加しました。子どもたちは奉行姿でポニーにま たがり、それぞれの腕前を披露。合計9本の的中数を競い



悪天候にも負けず矢を放ちました

ました。この催 しは子どもの成 長を願うもので、 今年で25回目。 あいにくの強 風にも負けず真 剣に的を狙う姿 に、観客は目を 細めていました。

#### 3月・4月 地方創生連携協定締結&国体PR用のぼり贈呈

# 東北銀行が地域活性化を応援

3月28日、本市と㈱東北銀 行は、「地方創生の連携に関 する協定」を締結しました。 協定内容はと雇用確保のため の商工業振興▷農林畜産業の 6次産業化ト観光振興と交流 人口の拡大による定住促進一 などです。特に、6次産業に 挑戦する人を対象とした、本 市が利子補給する資金融資に も取り組みます。 4月25日には、岩手国体を

PRするのぼり200本を本市 に寄贈。寄贈されたのぼりは、 少年男子サッカー競技会場と なる遠野運動公園などに設置 する予定です。締結式と贈呈 式はいずれも市役所とぴあ庁 舎で開催されました。 同行の村上尚登頭取は「地 元に根差した銀行として、今 後もさまざまな形で地域活性 化のお手伝いをしていきた い」と思いを語りました。

### 4月27日 コンビニ店員が人命救助 的確な救命措置に感謝状

4月22日、意識不明の男性に迅速に救命措置を行った、 サンクス遠野バイパス店の経営者である千葉幸童さん(51 歳)=綾織町=に、市消防本部消防長から感謝状が贈られ



ました。千葉さ んは、同店の店 舗前で男性が倒 れているのを発 見。すぐに救急 車を要請し、到 着までの間、心 肺蘇生法を行い ました。

人命救助にあたった千葉さん

新任ALTは米国出身のジャスリンさん 一緒に英語を楽しもう

遠野の子どもたちに英語や外国の文化を教える外国語指 導助手として、米国カリフォルニア州出身のジャスリン・ ホアンさんが着任。4月から、市内14の小中学校で授業に あたっています。ジャスリンさんは「遠野物語を読んだり、 観光したりして、遠野での暮らしを楽しみ、授業に役立て ていきたい」と意気込んでいます。

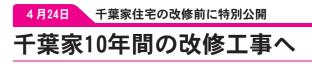




熱心に教えるジャスリンさん

25 広報遠野● 2016-06

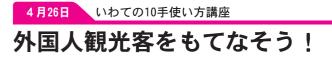




国指定重要文化財・千葉家住宅が約10年間の保存修理工 事に入るのを前に、最後の特別公開が行われました。市 内外から約300人が来場。重文千葉家の活用を考える会が、



餅まきなどで 盛り上げたほか、 イベントと併せ て募金活動を実 施。集まった約 13万円は市に寄 附され、同所の 整備事業に役立 てられます。



近年急増している外国人観光客の誘客につなげるため、 (一財)遠野市教育文化振興財団が企画。希望郷いわて文化 大使の村尾隆介氏が、観光関係者ら70人におもてなしの秘



おもてなしに必要な要素を語る村尾氏

訣を伝授しまし た。村尾氏は「英 語が話せなくて も大丈夫。記号 やイラストで相 手を笑顔にする ような接客が大 切と呼び掛け ました。